

■米国：RMP社が太陽光発電設備の開発促進型電気料金を試験実施

ロッキー・マウンテン・パワー（RMP）社（ユタ州ソルトレークシティ）は2015年10月23日、需要家が太陽光発電による電力の購入量を選択できる電気料金プログラムの試験実施が州規制当局によって承認されたと発表した。RMP社は、2万kWの太陽光発電設備の建設について開発業者と最終交渉の段階にあり、需要家はこの設備による太陽光発電電力を購入する。このパイロットプログラムに参加する需要家は、1ブロック200kWh単位で電力を購入し、自身の需要を賅う。建設予定の太陽光発電設備は合計20,000ブロック、400万kWhを提供する。RMP社によれば、もし需要家の購入量が20,000ブロックを超える場合には別の太陽光発電設備を建設するとのこと。平均的な家庭は毎月750～800kWhを使用するため、4ブロック購入すれば基本的には家全体の使用量を太陽光発電で賅うことができることになる。家庭用需要家はkWh 当たり7.7セントの固定価格の発電料金と4セントの送配電料金、合計kWh当たり11.7セントを支払う。個々の需要家の費用や節約額は、需要家の使用電力量に応じて変化する。